






中海 湖沼環境モニター一通信

平成23年4月

第4期モニター中間結果 (第2四半期:平成23年1月~3月)

10月の調査開始から半年がたちました。毎月の報告ありがとうございます。第2四半期の調査結果(3月末到着分まで)を集計しました。(4月になって新しい生活が始まったかたもいらっしゃいますが、引き続きよろしくお祈いします!)

赤色の数字・・・良かった (満点の8割以上)
青色の数字・・・悪かった (満点の半分未満)

五感	項目 (満点)	①	②	③	④	⑤
		湊山公園 付近	水鳥公園 付近	ウインズ 米子付近	中海干拓 地付近	西工業団 地付近
 見る	澄み具合 (20点)	8.9	13.3	10.9	9.7	11.7
	ゴミ (20点)	7.5	15.5	7.8	10.0	12.5
	景観 (10点)	6.3	5.8	10.0	10.0	7.5
 聞く	音 (10点)	8.1	8.8	7.7	10.0	8.3
 嗅ぐ	臭気 (20点)	12.5	14.5	15.0	20.0	20.0
 味わう	魚介類 (10点)	4.4	6.5	3.6	5.0	7.5
 触れる	感触 (10点)	3.8	6.5	5.9	5.0	7.5
合計 (100点)		51.5	70.9	60.9	69.7	75.0
ランク		(B)	(B)	(B)	(B)	(B)
COD		4.4	3.3	5.0	4.7	4.2
モニター名		Aさん、Bさん、Cさん	Dさん、Eさん、Fさん(母)	Gさん、Hさん、Iさん	Jさん	Jさん、Kさん

(参考)

第1四半期 (10月~12月) 合計点	78.3	62.8	59.3	64.0	63.1
---------------------	------	------	------	------	------

点の良し悪しには、どんな理由があったのでしょうか?

モニター感想・気づいたこと (ほんの一部です)

- 【湊山公園 1月】湖水は濁った深緑色で汚い。カモの群れがいて、気持ちがやわらいた。
- 【湊山公園 2月】大雪の後の倒木がすさまじい。1ヶ月に一度だけ中海と対話しているが、風情があるのか、毎月いろいろな表情を見せてくれる。
- 【湊山公園 3月】湖水は相変わらず汚く、泥水のように見える。先月いたカモの群れはいなくなり、さびしい景色だった。
- 【水鳥公園 2月】ホシハジロ、オナガガモ、ヒドリガモなどカモがたくさんいた。北に帰る前で、写真家の人がたくさん来ていた。
- 【ウインズ 1月】こんなに水が濁っているのは見たことがない。漂着ごみがとても多い(ヨシ(アシ)が50%、プラスチック類40%、廃材5%、ビン類5%)。
- 【ウインズ 2月】護岸に打ち上げられたゴミがたくさんあり、ゴミ捨て場の感がある。水鳥がたくさんいた。雲間から射す太陽の光線が美しい。

<裏面へ続く>

【ウインズ3月】快晴で気持ちの良い海岸だったが、湖水は濁っている。上空ではヒバリの鳴き声が気持ちいい。安来の風力発電のプロペラがゆっくり回転している。漂着ごみが多い（95%は枯れたヨシ(アシ)）。

【中海干拓地 1月】前月は湖底が見える日が一日もなかったが、1月下旬になって少しずつ湖水がきれいになり、久しぶりに湖底が見えた。

【中海干拓地 2月】岩場の海藻が白化していた。

【中海干拓地 3月】2月下旬に降った雨で濁った湖水の透明度が低い。岸辺の岩に付く海藻がこの時期にしては非常に少ない。

【西工業団地 1月】ここ半年の調査では湖水が最もきれいだった。（秋はアオコだった）

【西工業団地 2月】中海干拓地と同じく、こちらも湖水はかなり濁っていた。

【西工業団地 3月】例年この場所にたくさん発生するアマモの芽が出てこない。ウミトラノオの成長も異常と思えるほど悪く、枯れかかっているものが多い。比較的水深の浅い所では冬場の低水温と海藻の成長には因果関係があるように思う。

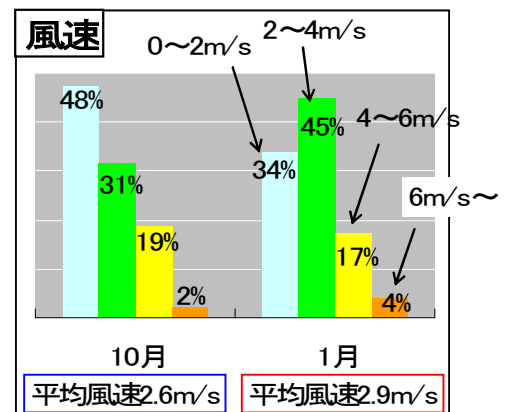
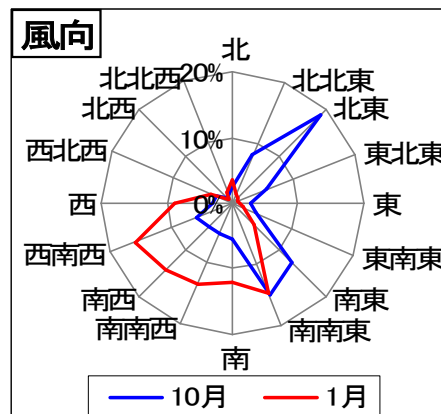
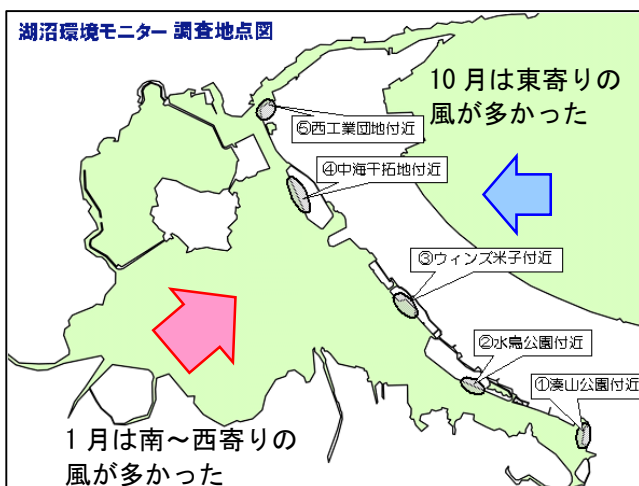
水鳥、大雪、漂着ごみ、湖水の濁り、・・・

水鳥 水鳥の生息地として国際的に重要な湿地である中海。気持ち良さそうに過ごす鳥たちを見ていると私たちの心も穏やかになります。例年3月半ばを過ぎるとみんな北へ帰って行くコハクチョウですが、今年はよほど居心地が良かったのか、4月初めまで居残り組がいました。

大雪 年末年始の大雪で、モニターさんの中にも持ち船が転覆した方もいらっしゃいました。五感調査では「木々が倒れて景観が悪化していた」、「低水温が海藻の成長に影響しているのではないか」などの報告がありました。

漂着ごみ、湖水の濁り ウインズ米子付近では「漂着ごみが多い」状況でした。また、多くの地点から「湖水がかなり濁っている」という報告があり、このようなことから「見る」「味わう」「触れる」の点数が全体的に低かったのかなと思います。

10月と1月の風向・風速を比べてみると・・・



ウインズ米子付近の様子

枯れたヨシ、ごみが護岸にたくさん漂着していた



米子（平成22年10月、平成23年1月）

「**中海の未来をこどもと語る会**」で発表

2月26日、米子水鳥公園において、彦名校区環境をよくする会（向井哲朗会長）などの主催で「中海の未来をこどもと語る会」が開催され、モニターDさん・Eさんが「中海湖沼環境モニターに参加して」と題して、地域のかた約60人の前で発表しました。

お二人は水鳥公園で3年間調査して「CODは夏に上昇する」、「五感調査の結果は、ますます良好のBランクで、3年間とも同じくらいの点数だった」と報告し、『私たちが調べた3年間では、あまり中海がきれいになっていませんでした。もっとみんなで頑張っ
て、きれいにしていきたいと思います』と呼びかけました。



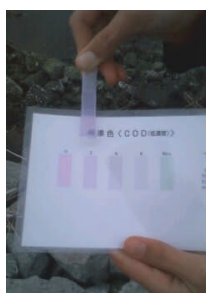
モニターJさんも中海の海藻を肥料にした有機農法の取組を発表されました。
(↓)



(↑)発表するDさん・Eさん。Eさんは、10月に名古屋で開かれた生物多様性条約締約国会議(COP10)の参加報告もしました。

水鳥公園の調査風景(1~2月)

マガンの群れが
隊列を組んで飛んでいました



彦名東橋の下に、タカに襲われたカモの羽根が散乱していました

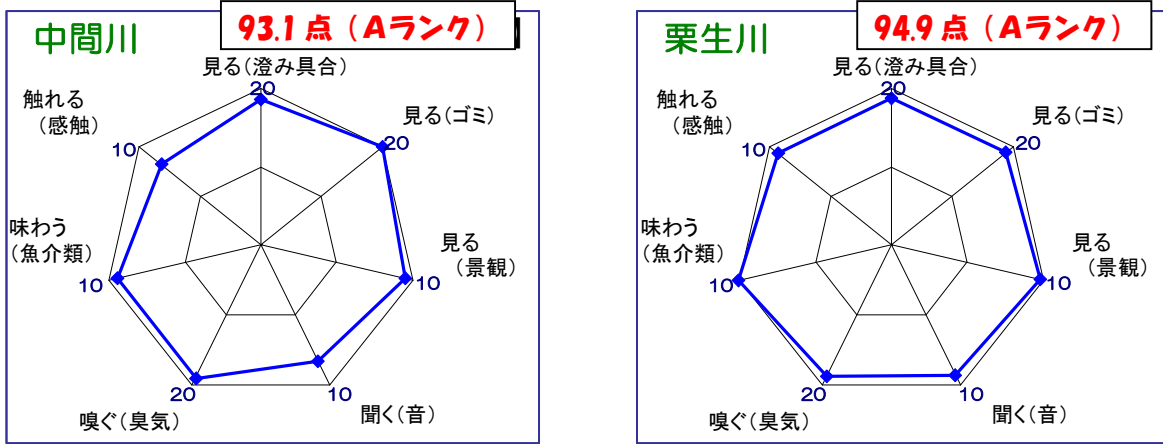


屋久島での調査結果報告

Fさんは、小学3年生から湖沼環境モニターに参加していただいています。6年生の1年間、屋久島に留学していました。

その間も屋久島で調査を続け、毎月調査結果を報告してくださいました。ありがとうございました！ 屋久島、行ってみたいですね、(^o^)

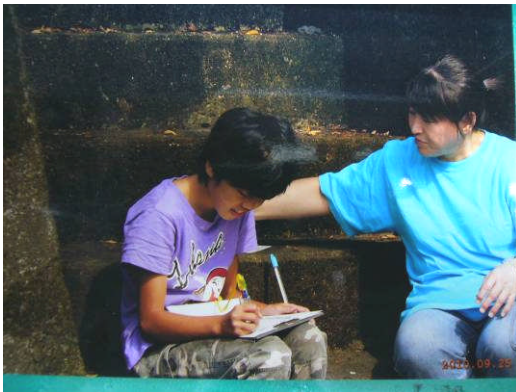
屋久島！ 環境モニター結果（平成22年4月～平成23年3月）



合計点数	ランク	評価内容
80点以上	A	おおむね良好で親しみやすい環境にあると感じられる。
50～79点	B	やや気になる面があるが、まずまず良好な環境であると感じられる。
49点以下	C	快適さに欠け、親しみにくい環境にあると感じられる。



- 【4月】見た目はきれいだったけど、CODが7mg/リットルと意外に高かった(中間川)。ハゼ、エビの子どもがいた(栗生川)。
- 【5月】今日はすごく水が澄んでいた(栗生川)
- 【6月】いつも栗生川は景観が良い！
- 【7月】水に足をついたら、とっても気持ちがよかった。とても澄んでいて魚がいた。鳥の鳴き声もした(中間川)
- 【8月】栗生川も中間川もごみはなかった。いつもより水がきれいだった。
- 【9月】魚が釣れていた(栗生川)。
- 【10月】川の底が見えた(栗生川)。
- 【11月】だんだん水が冷たくなってきた(中間川)。工事の音がうるさい(栗生川)。
- 【2月】水が冷たくて寒い(栗生川)。
- 【3月】水がすごい引いていた！！(栗生川)



(担当) 鳥取県西部総合事務所 生活環境局 環境・循環推進課